

## 北海道駒ヶ岳の火山活動解説資料（令和2年9月）

札幌管区气象台  
地域火山監視・警報センター

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### ○活動概況

- ・噴気などの表面現象の状況（図1-①～③、図2～3）  
山頂に設置した監視カメラによる観測では、昭和4年火口のごく弱い噴気が確認された日がありました。噴気活動は低調な状態です。
- ・地震及び微動の発生状況（図1-④～⑥、図4）  
火山性地震は観測されず、地震活動は低調な状態です。  
火山性微動は観測されていません。
- ・地殻変動の状況（図5）  
GNSS連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められません。

---

この火山活動解説資料は札幌管区气象台のホームページ(<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ([https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php))でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。  
<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道及び森町のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。また、同院発行の『電子地形図（タイル）』を複製しています（承認番号 平29情複、第958号）。

次回の火山活動解説資料（令和2年10月分）は令和2年11月10日に発表する予定です。

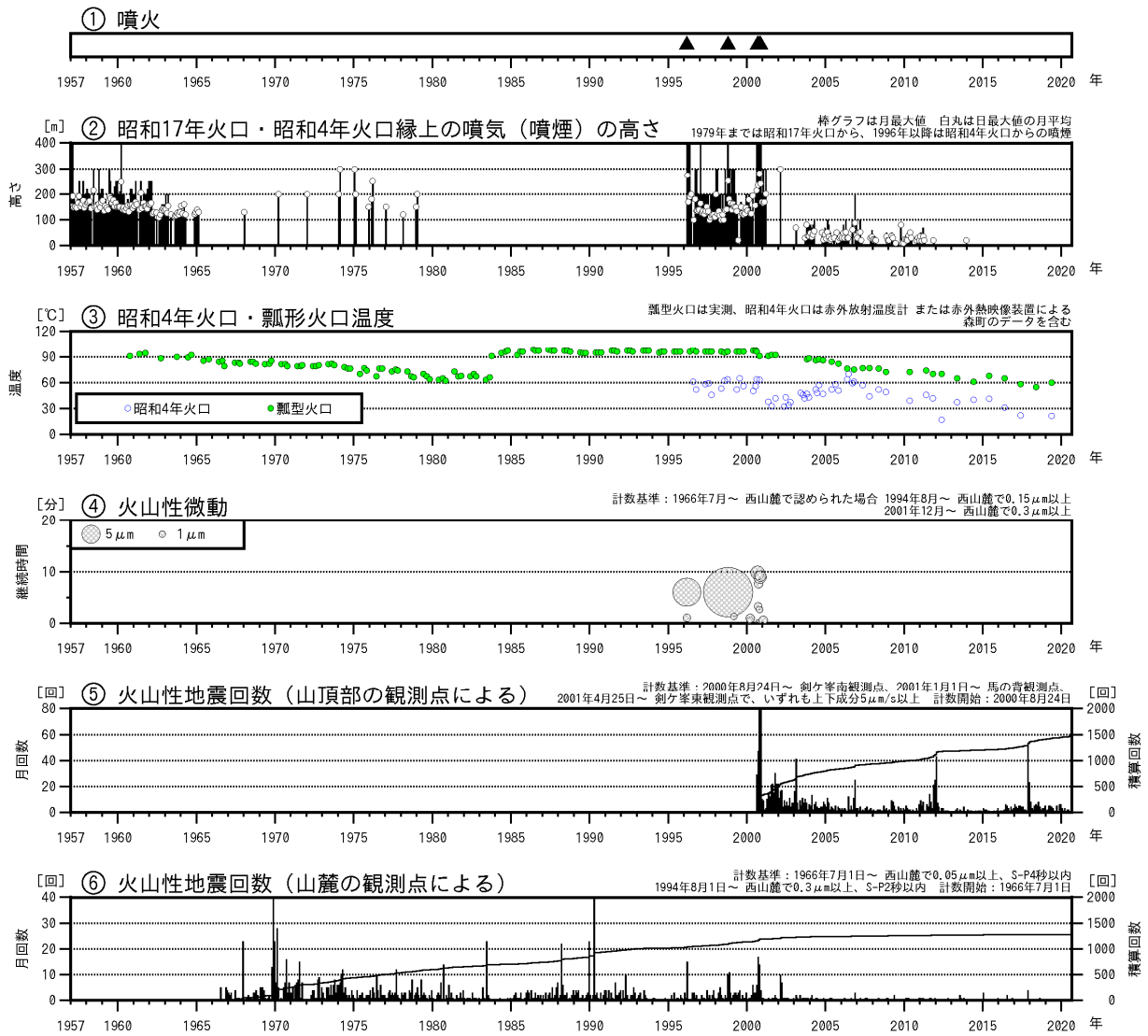


図1 北海道駒ヶ岳 火山活動経過図（1957年1月～2020年9月）



図2 北海道駒ヶ岳 火口周辺図

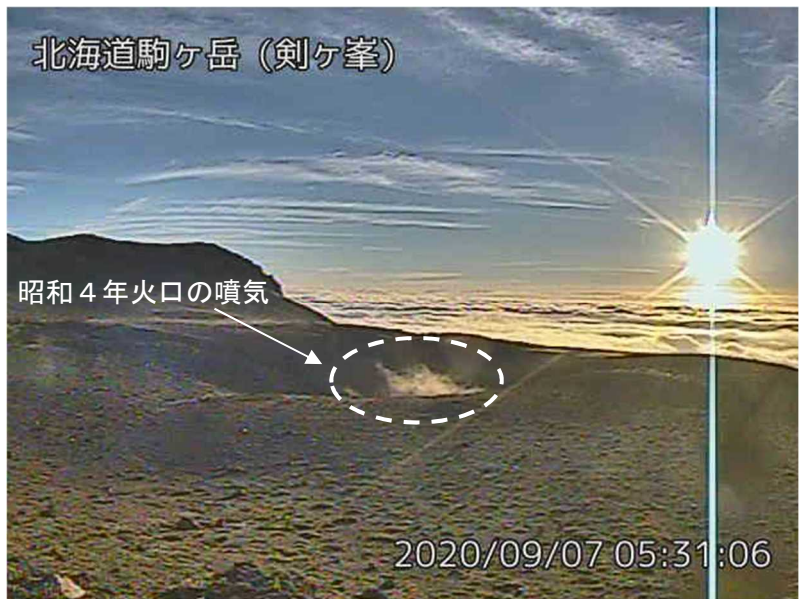


図3 北海道駒ヶ岳 西南西側から見た火口周辺の状況  
(9月7日、剣ヶ峰監視カメラによる)

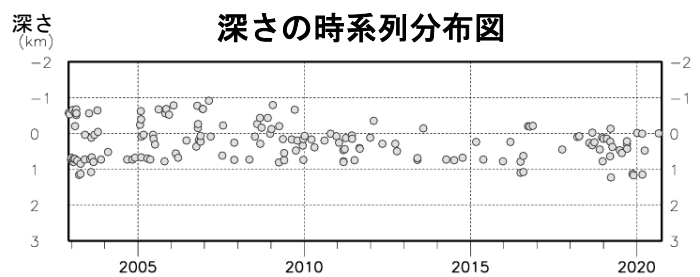
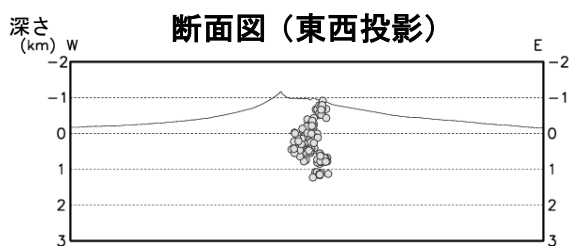
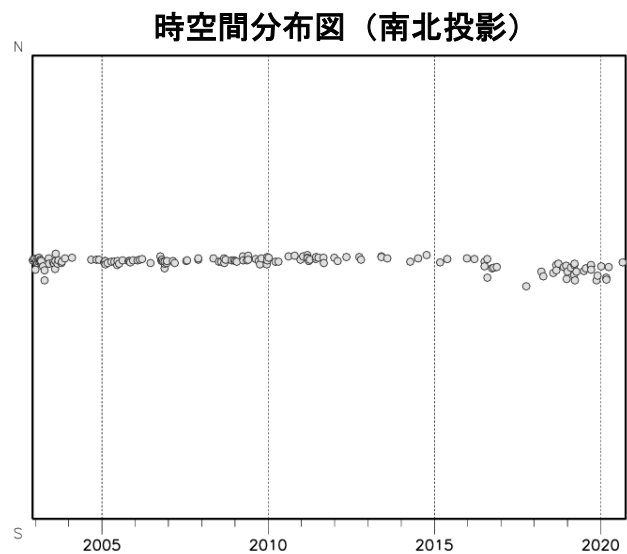
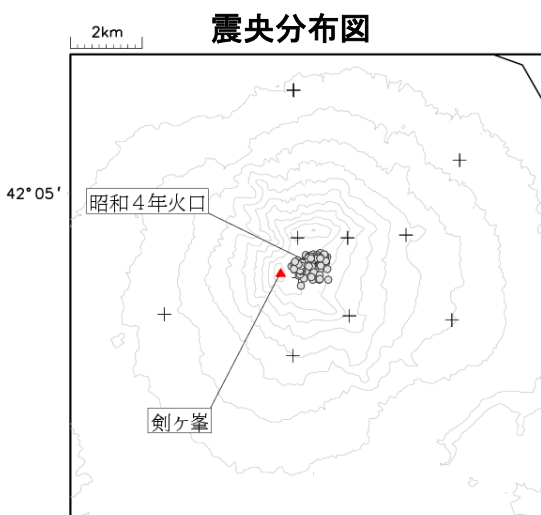
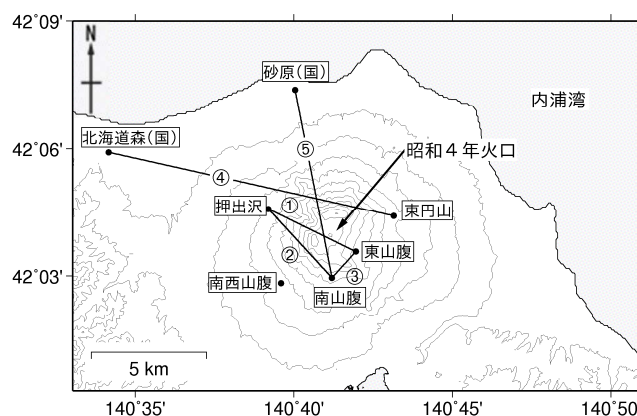
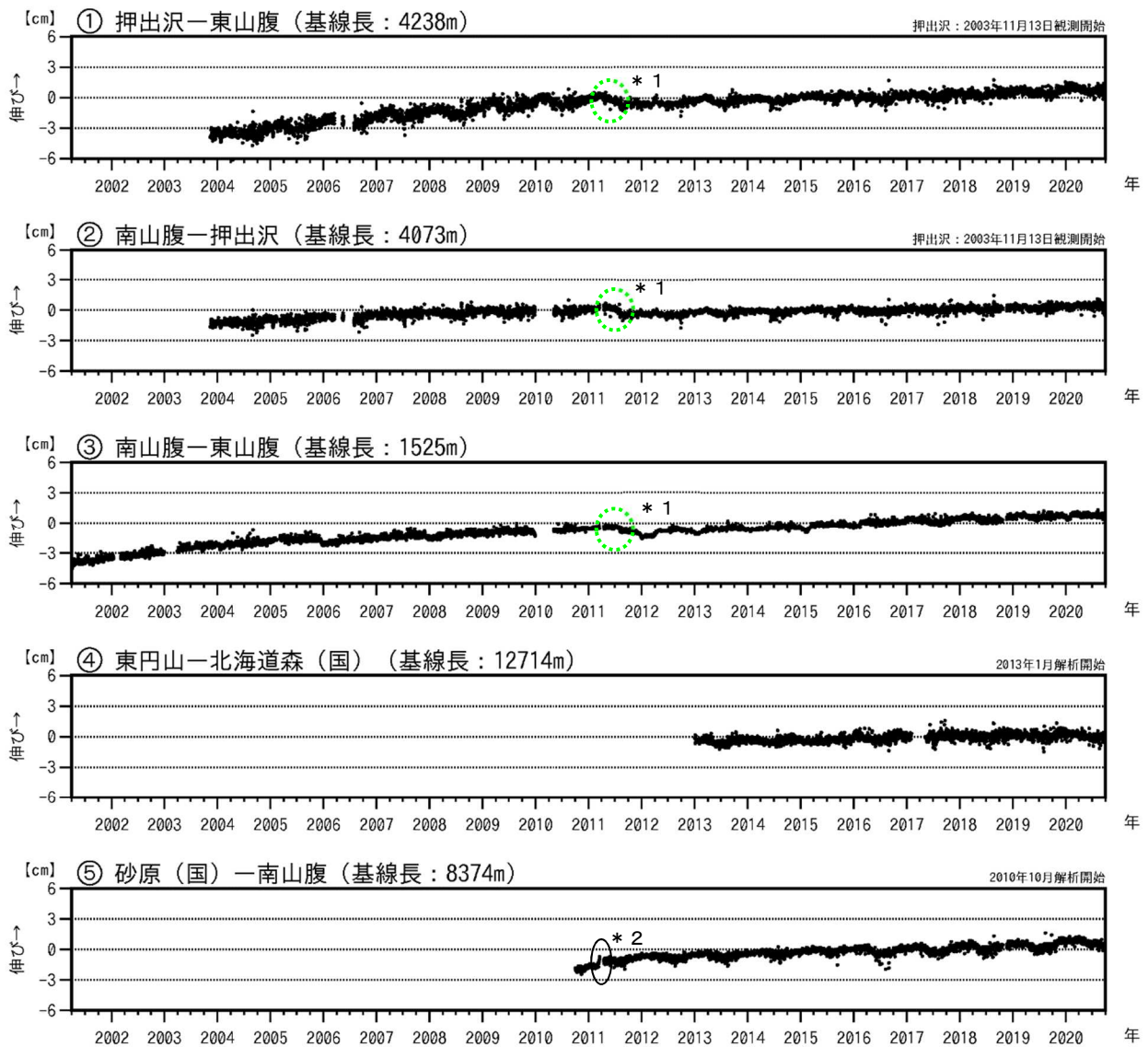


図4 北海道駒ヶ岳 火山性地震の震源分布 (2002年12月～2020年9月)

●印：2002年12月～2020年8月の震源  
+印：地震観測点



気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています。  
 (国)：国土地理院

図5 北海道駒ヶ岳 GNSS連続観測による基線長変化（2001年4月～2020年9月）及び観測点配置図

GNSS基線①～⑤は観測点配置図の①～⑤に対応しています。  
 GNSS基線の空白部分は欠測を示します。  
 ①～③の緑点線円内の変動（\* 1）は、機器更新によるものです。  
 ⑤の黒楕円内の変動（\* 2）は、2011年3月11日に発生した「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の影響によるものです。  
 2010年10月及び2016年1月に解析方法を変更しています



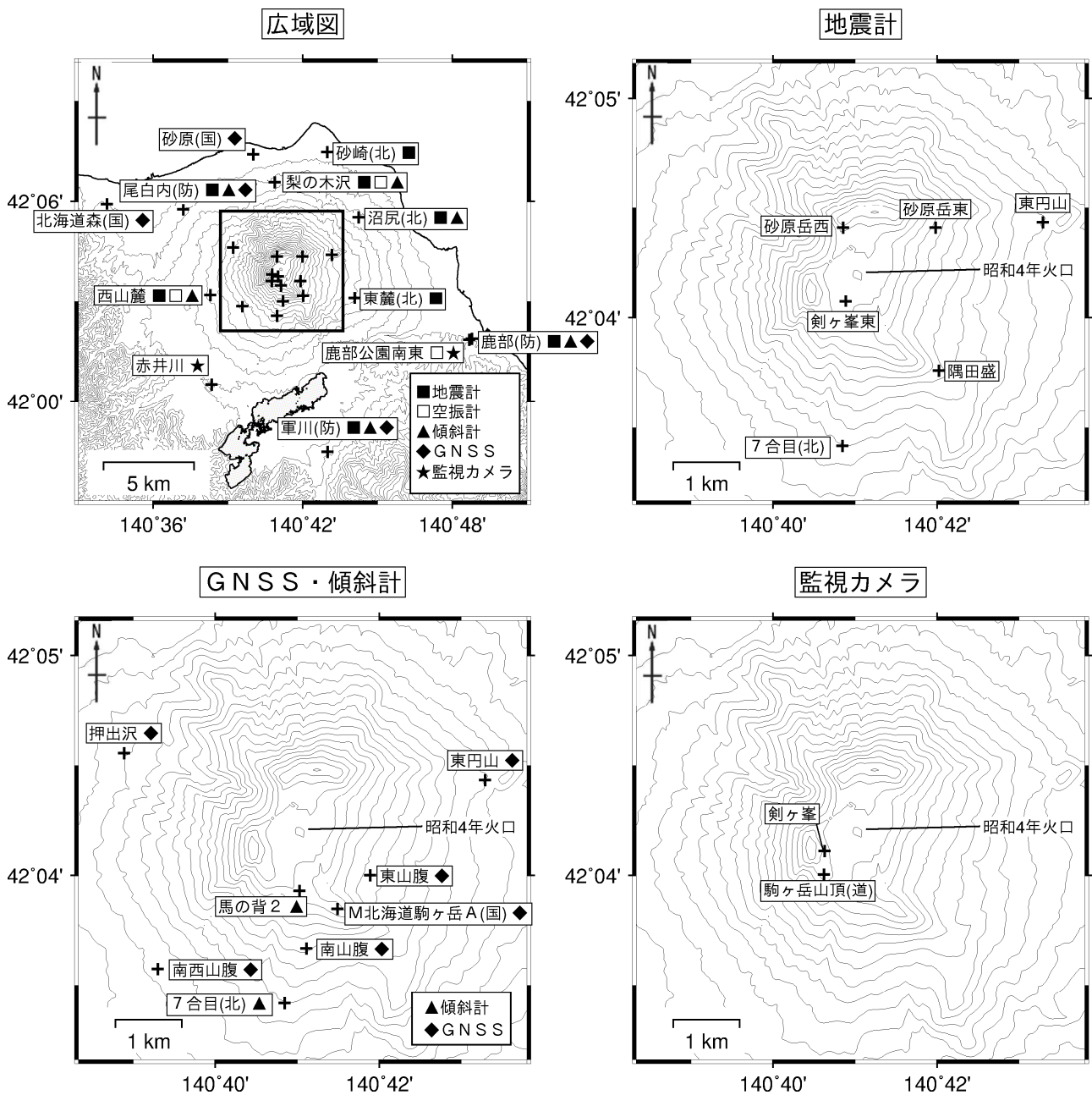


図6 北海道駒ヶ岳 観測点配置図

各機器の配置図は、広域図内の口で示した領域を拡大したものです。

+印は観測点の位置を示します。

気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています。

(国)：国土地理院

(北)：北海道大学

(防)：国立研究開発法人防災科学技術研究所

(道)：北海道